

## 取扱い説明書

### Model : WS-A300L

#### 電波障害自主規制

この装置は、クラスA情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

#### ご注意

ご使用前に必ず本書をお読みください。読み終わった後は、大切に保管し、必要な時に読み直し出来るようにしてください。

本書の使用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植などにかかわらず、当社は一切の責任を負いかねます。

本書に指定されている製品以外の別売品や消耗品を使用した場合の結果として発生したトラブルにつきましては、当社は一切の責任を負いかねます。

本書で指定されている製品以外の別売品や消耗品を使用し、発生した場合のトラブルにつきましては、当社は一切の責任を負いかねます。

本書で指定している部分以外は、絶対に手入れや分解、修理は行わないでください。

お客様の誤った操作取扱い、使用環境に起因する損害につきましては、責任を負いかねます。

データなどは基本的に長期又は永久的な記憶、保存はできません。故障、修理、検査などに起因するデータ消失の損害、及び損失利益などについては、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

本書の内容について記載漏れや誤り、不明な点などがございましたら、お買い求め先に連絡をお願いいたします。

乱丁、落丁はお取り換えいたします。

#### 操作上の注意

ペーパージャムは、電源が入っているときは取り除かないで、電源を切ってから行ってください。

濡れた手で本製品を触らないでください。

本製品を押しったり衝撃を与えたりしないでください。

高湿状態に本製品を置かないでください。

カッター部やサーマルヘッド部を洗ったりしないでください。

#### 警告

問題が発生した時は、連絡をお願いします。

異物が入ってペーパージャムが発生した時は、電源を切った後で取り除いてください。

中を開けるときは清潔な環境で行ってください。

ダメージを受けないような環境に設置してください。

同梱した電源供給装置をお使いください。

ロール紙を交換するときは、カッター部やサーマルヘッド部が作動することがあるので、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。

万一、使用中に発煙、異臭、異音等の異常が発生したら直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### 日常のお手入れ

お手入れは必ず本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本体ケース表面の汚れ、ほこりは、乾いた柔らかな布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、水に濡らしかたく絞った布巾で拭きとってください。アルコール類、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系等の有機溶剤や化学布巾などは絶対に使用しないでください。紙粉で汚れた場合は、柔らかいブラシ、ハケ等を使用して掃除してください。使用時はサーマルヘッドが高温になっています。印字直後に触ることはやめてください。てください。サーマルヘッドの印字部は汚れをとるとき以外は触りません。

印字中、本体内部のカッター部やギアなどの可動部、電気部品などに手を触れないでください。サーマルヘッドの印字部は汚れをとるとき以外は触りません。

印字中、本体内部のカッター部やギアなどの可動部、電気部品などに手を触れないでください。

## 1、 同梱品

下記のものが同梱されていることを確認してください。

- プリンター本体：1台
- ACアダプター（24V仕様）：1本
- データケーブル：1本
- 取扱説明書：1部
- ドライバー&ユーティリティCD：1枚
- サンプル感熱（サーマル）ロール紙：1本
- AC電源コード：1本
- 防滴カバー前面/後面：各1枚

## 2、 仕様一覧

型式	WS-A300L
印字方式	サーマルドット印字方式
印字速度	最大 300mm/sec*
コラムキャパシティ	576Dots/Line、512Dots/Line
ラインスペース	3.75mm（コマンドにより変更有り）
コマンド	ESC/POS 準拠
用紙ロール幅	幅 79.50mm±0.5mm
印字幅	72mm（コマンドにより変更有り）
用紙ロール直径	最大 80mm
用紙厚	60μ以上 80μ以下
ヘッド寿命	最大 130km（印字負荷 12.50%）
MCBF	最大 6x10 <sup>7</sup> lines
バーコード	UPC-A/UPC-E/JAN13（EAN13）/JAN8(EAN-8）/CODABAR/ITF/CODE39/CODE93 /CODE128
2Dバーコード	QRコード/PDF417
ドライバー	Windows8.1,10、Android、Linux、iOS
インターフェース	LAN+USB+シリアルの1種
電源	100VDC 50~60Hz
入力	24VDC 2.5A
入力バッファ	2048Kバイト
NVフラッシュ	256Kバイト
TPH寿命	100Km
カッター	パーシャル
カッター寿命	最大 1.5x10 <sup>6</sup> カット
動作時環境温度	0 以上 45 以下
動作時環境湿度	10%RH 以上 80%RH 以下
保管時環境温度	-10 以上 60 以下
保管時環境湿度	10%RH 以上 90%RH 以下
外寸	WxDxH：145mm x 193.3mm x 144mm
重量	1.8kg

\*：印字速度はデータの転送及びコマンド設定によります。

### 3、 プリンター各部の名称



#### 電源 LED (青)

電源スイッチを ON にしたときに点灯します。

#### エラー表示 LED (橙)

エラーが発生した時に点灯します。

#### ペーパー表示 LED (橙)

ペーパーがなくなったときに点灯します。新しくペーパーを入れると、ペーパー表示、エラー表示、エラー音は消えます。

#### ライトアラーム表示 (橙)

電源 ON 時やプリント完了時にブザー音と同期し点灯します。

#### ペーパーフィードキー

ペーパー送りをを行うキーです。

#### カバー開閉レバー

カバーの開閉を行うレバーです。

#### 電源スイッチ (後面)

I を押すと電源が ON になります。 を押すと電源が OFF になります。

#### 前カバー

ペーパージャムが発生した場合に、ジャムを取り除くために本カバーを開けることがあります。通常は使いません。カバーの開閉は電源スイッチを OFF にした後で行います。

## 4、 ケーブルの接続

- 4.1 電源の接続は、ACアダプター（トランス含む）とAC電源コードを使い行います。
- 4.2 トランスのあるACアダプターのコネクターは、一面が平面になっており矢印が入っています。  
この平面部が上になるようにし本体に接続します。



矢印のある平面部が上になるようにし電源を接続

## 5、 ロールペーパーのセット

ロールペーパーは、幅 79.50mm±0.5mm、ロール直径 最大 80mm、用紙厚 60µ以上 80µ以下の感熱（サーマル）ロール紙を使用します。

- 5.1 カバー開閉レバーを押して、右下図のように右側から見て感熱（サーマル）ロール紙が、手前下側から上がる方向にセットします。
- 5.2 カバーを閉じた後、1 から 2cm 程度感熱（サーマル）ロール紙が出る状態にします。（感熱側は手前側になります）

## 6、 セルフテスト

本テストは内蔵されたファームウェアとディップスイッチの確認のために必要に応じて行います。

- 6.1 電源の接続がなされ、感熱（サーマル）ロール紙がセットされている状態にします。
- 6.2 ペーパーフィードキーを押した状態で、電源スイッチを ON にします。するとファームウェアの印字がなされます。
- 6.3 本テストは確認のためのテストです。必ず行う必要はありませんが、印字されれば正しく作動しますので、ファームウェアの確認のために行います。

### セルフテストの印字例



## 7、ペーパージャムの対応

本ペーパージャムは通常は発生しません。但し長い年月の使用後、紙粉により内部が汚れたり、ゴミがたまった場合、推奨ロールペーパー仕様以外を使用している場合は発生可能性がありますのでご注意ください。

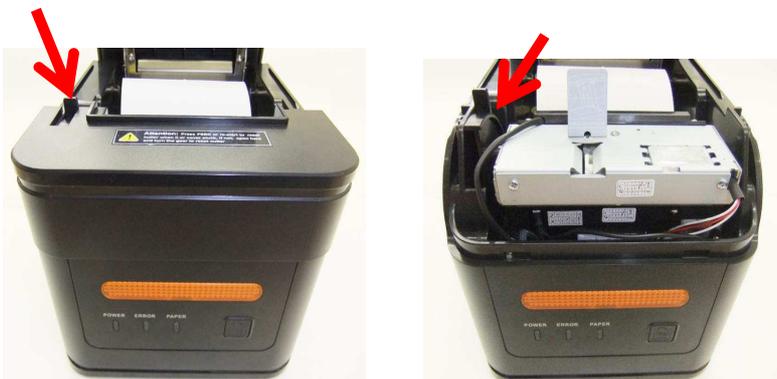
推奨ロールペーパーの仕様は、幅 79.50mm±0.5mm、ロール直径 最大80mm、用紙厚 60μ以上80μ以下の感熱(サーマル)ロール紙です。

7.1 装着したロールペーパーの搬送が正常になされず、ペーパージャムや機械的異音が発生する場合は、すぐ電源スイッチをOFFにします。

7.2 カバー開閉レバーを押して、中を確認します。しわになったロールペーパーを確認し、ていねいに取り除きます。

7.3 カバー開閉レバーを押してもカバーが開かない場合は、電源スイッチのOFF/ONを何回か繰り返します。カバー開閉レバーを強くたたいたりしてレバーや本体に損傷を与えたりしないようにします。

7.4 ロールペーパーがカッター部に入った場合は、電源スイッチを切った状態で、前カバーの左右上部2か所を上にあげると前カバーが取れますので、中にロールペーパーの一部が入っているか確認を行います。(本作業は通常は行いません)



7.5 シールが貼っている中にギアが見えますので、手で回して詰まった紙粉を取り出します。



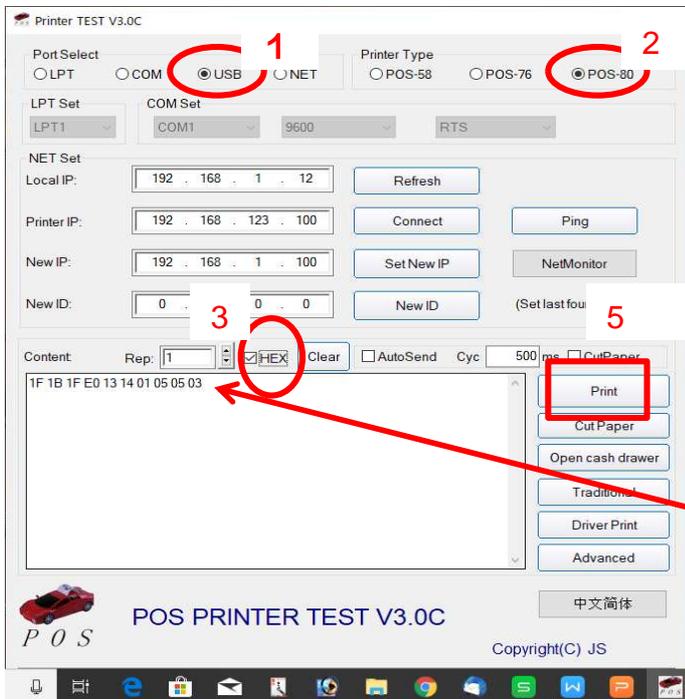
7.6 作業終了後にカバーをカチッと音がするまではめて元に戻します。



## 8、キッチンプリンターのブザー音と警告灯の設定方法 Ver3.0C/3.1C 用

まず付属 CD の Tools/Printer Test /Printer Test を開きます。

すると下記の画面があらわれるので、USB にクリック、POS-80 にクリック、HEX にクリック、枠内にコマンドを入れる、Print をクリック の順で設定します。



左記の枠内にコマンドを入れて設定します

上記 4 の枠内に、下記コマンドを入れることで、ブザー音と警告灯の設定が出来ます  
これで行った設定は、電源を OFF にしても記憶され、解除されません

### 8-1、用紙をカット後の、ブザー音と、警告灯の点滅機能を設定するやりかた

コマンド (16 進数): 1F 1B 1F E0 13 14 m n t mode

(例えば 1F 1B 1F E0 13 14 01 05 05 03)

**m**: 00 は OFF、01 は ON に対応します (OFF でも用紙のカット時の音とアラームは発生します。 OFF の場合の設定例 1F 1B 1F E0 13 14 00 05 05 01)

**n**: 警告灯の点滅およびブザー音の回数です 通常の設定は n=5 で変更しません。

1F 1B 1F E0 13 14 01 05 05 03 です

(もし変更する場合は、1~20 の間で変更します)

**t**: 警告灯の点滅 (tx50ms) 間隔と、ブザー音 (tx50ms) 間隔で鳴らす設定。通常の設定は n=5 で変更しません

1F 1B 1F E0 13 14 01 05 05 03 です

(もし変更する場合は、1~20 の間で変更します)

**mode**: 上記の m に対応し、m が 00 (OFF) の場合は 01 を、m が 01 (ON) の場合は 03 を入れます。

### 8-2、用紙カット後、設定時間内に取り出さない場合の、ブザー音と警告灯の設定のしかた

コマンド (16 進数): 1F 1B 1F A0 mode toh tol aoh aol (1F 1B 1F A0 01 00 05 00 05)

**mode** // 設定時間内に注文が入った後、取出ししていない場合の処理方法です

// 00: ブザー音発信を OFF にして、この機能を無効にします

// 01 : 再切断後の動作から時間を計り、ブザー音を発信します

// 02 : 紙が取り上げられず、新しい注文がなされた場合、タイムアウトを待たずにブザー音が鳴る設定にします

例 : 1F 1B 1F A0 01 00 05 00 05

toh toI //紙の取出し後に警告ブザー音の発信される時間の設定

//デフォルト設定は 10 秒で、基本変更しません

//00 00 に設定すると、印刷後すぐにアラームが鳴りますが、数値は変えません

例 : 1F 1B 1F A0 01 00 05 00 05 のままとなります

aoh aol //アラームタイムアウト

// デフォルト設定は 5 分で、基本変更しません

// 00 00 に設定するとタイムアウトしませんが、数値は変えません

例 : 1F 1B 1F A0 01 00 05 00 05 のままとなります

### 8-3、日本語印字から韓国語、または中国語印字にするコマンド (V3.1C からの機能)

・韓国語にする場合:1F 1B 1F 46 4F 4E 54 02

・中国語 (簡体字) にする場合:

1F 1B 1F 46 4F 4E 54 00

・他言語から日本語にする場合:

1F 1B 1F 46 4F 4E 54 03 設置 953 " Japanese "

### 8-4、印字幅が 80mm 幅になったときに、正常の印字幅 (72mm) に戻すコマンド

(V3.1C からの機能、通常は使用しません)

1F 1B 1F E1 13 14 00

## 9、DIP スイッチと機能

機器底面に DIP スイッチのカバーがありここを開けると下記のスイッチが確認できます。

下記は出荷時設定の条件です。通常は変更を行いません。



各 DIP スイッチの機能は下記のとおりです。上記ディップスイッチ画像と対応して設定しています。

No.	機能	ON (上) の場合	OFF (下) の場合
SW-1	カッター機能	無し	有り
SW-2	ブザービープ音の選択	有り	無し
SW-3	印字濃度の選択	濃く	標準
SW-4	2 バイト文字対応	対応せず	対応
SW-5	1 ライン当たりの文字数	42	48
SW-6	キャッシュドロワのカッター機能 ON	入れる	無し

下記はシリアルポート使用時のケーブル間転送速度設定です。

USB の転送速度は約 300Mbps で、19200bps の約 15000 倍の転送速度ですので USB の使用を推奨します。

SW-7	ON (上)	OFF (下)	ON (上)	OFF (下)
SW-8	ON (上)	ON (上)	OFF (下)	OFF (下)
搬送速度 bit/sec	38400	115200	9600	19200

その他、取り付け使用上の不明点について、和信テック㈱のホームページのレシートプリンターのユーザーマニュアルをご参考にして  
ください。

和信テック株式会社([www.washintech.co.jp](http://www.washintech.co.jp))

問い合わせ電話 03-5811-1969

受付時間 9:30-12:00 月曜日-金曜日

13:00-17:30 月曜日-金曜日

(ただし祝日、年末年始等を除く)

